

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)相模原市中央区淵野辺二丁目計画	階数	地上10F
建設地	神奈川県相模原市中央区淵野辺2丁目4257番1,外3筆	構造	RC造
用途地域	第1種住居地域、準防火地域	平均居住人員	324 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2021年8月 予定	評価の実施日	2020年1月14日
敷地面積	2,660 m ²	作成者	(株)西尾建築設計
建築面積	738 m ²	確認日	2020年1月17日
延床面積	5,987 m ²	確認者	(株)西尾建築設計

外観バース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 **Qのスコア = 2.6**

Q1 室内環境 **Q1のスコア = 3.3**

Q2 サービス性能 **Q2のスコア = 2.8**

Q3 室外環境(敷地内) **Q3のスコア = 1.4**

LR 環境負荷低減性 **LRのスコア = 3.5**

LR1 エネルギー **LR1のスコア = 4.2**

LR2 資源・マテリアル **LR2のスコア = 2.8**

LR3 敷地外環境 **LR3のスコア = 3.2**

3 設計上の配慮事項

総合	その他	
建物の温熱環境や住棟の劣化対策、住戸内の効率の良い設備機器設置を考慮した設計を目指しました。断熱等性能等級は4、劣化対策等級は3の最高等級で設計しました。	特になし	
Q1 室内環境 外皮性能: 品確法5-1断熱等性能等級を4で施工します。	Q2 サービス性能 部品、部材の耐用年数: 品確法劣化対策等級を3で施工します。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内温熱環境の向上: 空地を確保することにより、風の通り道を確保する。
LR1 エネルギー 建物外皮の熱負荷抑制: 外皮性能を品確法5-1断熱等性能等級を4で施工します。	LR2 資源・マテリアル 水資源保護: 主要水栓に節水機器を使用します。	LR3 敷地外環境 自転車利用に対する工夫: 利用者に対する駐輪場の確保。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される